臺灣昌新報
夕刊
八月八日
一部一個定價一錢
夕刊定價一部一錢
發行所　臺北市榮町四丁目卅二番地　臺日日新報社
基隆市旭町一丁目七五（七五）　基隆支局
臺中市寿町一丁目（一〇）　臺南支局
花蓮港街八番地　花蓮港支局
大阪市西區靱南通八丁目　大阪支局
東京市芝區櫻田本郷町三番地　東京支局
佐々木貞丸

菊正宗
灘酒商
嶋田商店

英の對蔣援助消極化
二元化政策に轉向す
國府はソ聯接近の一途

【臺灣八日發同盟】カー英國大使上海歸還後の英國の對支政策の動向は極めて注目されてゐるが英國は從來の對蔣援助の積極的態度より消極化への傾向を辿り四川省獨立後の國民政府の發行を無視しつゝ次第に三元化政策の方向に進展しつゝあると觀察されてゐる、即ち新政權下にある英國の在支權益の確保に對しては今後更に積極的動きを見せる一方重慶移轉の外交機關を通じては不即不離の立場より漢口放棄後弱體化のテムポを急ぎつゝある蔣政權とソ聯との接近を監視せんとするものである、四川移動後の蔣は國民政府又は蔣の消極化を恐れ、佛よりも更に地理的關係からソ聯接近を急ぐものと見られ、獨に經濟的にも英國的色彩を多分に加味して行くものと考へられる、斯くてソ聯と結ばれた英ソ支那不可侵條約を基に英國は從來の對蔣援助を更に積極化して英露的色彩を多分に加味して行くものと考へられる、斯くてソ聯の雲南、緬甸への勢力接近を喜ばぬ英、佛兩國は飽くまでこれを喰止めんとしこれがため國民政府の假首都たる重慶に外交機關を移し嚴重成行きを見守らんとするもので地理的に次第に赤化の魔手に陷らんとする蔣政權を繞つて英、佛、ソ三國の動きは更にデリケートとなりつゝある

情勢に依り重慶からう、然し民衆の利益を無視に當りに立つ大幅には動かさない方針である

南昌全く潰滅す
無敵空軍の爆撃に任す

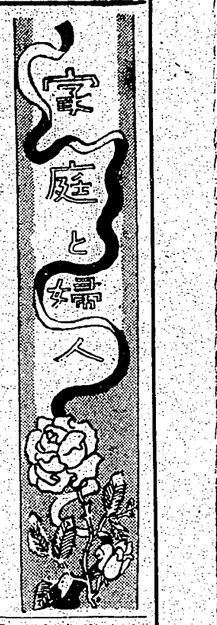
【上海七日發同盟】贛江方面我軍總攻撃——七日中支方面各所の戰況を見るに贛江方面我軍の總攻撃は愈〻本格的段階に入り、新鋭飛行場に總攻撃を續めて皆つては敵の中支における航空兵力の中心地たる南昌飛行場に對し、我が攻撃部隊は西方樵舎南昌飛行場及びその南方に新に設置せる約二十機の重爆撃機は

今も思ひ出新たな 數々の渡洋爆撃

空襲行・實に百一回

臺の松丸二部隊長戰記

【上海六日發同盟】海の荒鷲、海軍航空隊の活躍は今次事變中の白眉である、事變勃發以來一閲年、實に百餘回に亘る渡洋爆撃に參加して不朽の武勳を輝かし、今や全世界の耳目を聳動した臺灣出身の勇士松丸二部隊長（原籍臺南州新豐郡新豐庄大字新豐字三十二番地）の戰歿は、實に我が航空界の大損失である、松丸部隊長は昨年八月十四日全國民の信望を担つて勇躍決行された第一回渡洋爆撃以來の勇士であり、世界に如實に示すに至つた、



子宮癌も短時日で全癒する

ラヂウム療法について

眞柄正直博士は語る

婦人科の依頼中一番大切な子宮癌の治療に就て、濱北醫院時代には大抵九十日程度の入院を必要として居たが、現在廣大附屬病院の同科醫長で斯界の權威者たる眞柄博士が診療をうるやうになつてから、極めて短時日に全癒退院したもの近頃五の實例があるが、其の病勢が進んで根治手術のできないほどの患者に對しても、ラヂウム治療法の飛躍的發展と相俟つて完全に癒し得らるることとなつた、之に就き同博士は往訪の記者に對し大要左の如く語つた

婦人科の疾患では、子宮癌の治療が最も重要である、その治療法は歐米各國に於てもそれ〴〵異るが、自分は次きのやうな治療をして居る、即ち手術の可能なものに對しては出來るだけ完全に子宮癌及び其の附屬組織を切除いて後、レントゲンにて治療するといふ方式である、ところが我が國大附屬醫院に來る患者は既に手術のできないほど病勢の進展したものが非常に多い、斯る場合にはラヂウムとレントゲンを併用して治療する、この兩者間の治療關係は、果大敎授の自宅博士も言ふ如く一手加減り一層難しいのである、いま敍述方面を見れば此のラヂウム治療の代表的のものは二ア所で、其の一は傳來ペリのそれである、同所ではラヂウム一回の挿入量を適合に少くして連續的の作用させる、その分量は子宮腔に三十ミリ粍六十ミリグラムを二十四時間續けて入れ毎日又は隔日に合計五回乃至六回施して七十二百ミリグラム時だけ入れるのである、ところが今一つの瑞典のストックホルムの治療所では其の特徴として一回の挿入量を大きくし、それを分割して治療日數を引き伸ばす、即ち子宮腔には四十ミリ粍には七五ミリ、計一百十五ミリグラムを一回に入れて廿時間續けるが、つまり一回で二千三百ミリグラム時入れるわけである、それから一週間おいて同じ事を繰返し、更に三週間後にまた同じ事をするので、之を總計すると全體六千九百ミリグラム時入れることになる。

此の二つの遣り方は共に缺點も長所もあるが、先人の研究にも依り、また自分の經驗からしても一回の挿入量は少くとも五十ミリ以上を入れなければいけない、但し二百ミリ以上入れると膀胱用が起る處れがある、そして一回の繼續時間は少くとも二十時間以上でなければ效果が薄い、また二回一回の間隔を一週間以上にしても效果が餘りなく、これらの點から、自分の方では子宮癌と診斷が付き次第二十ミリグラムを二十時間續けて毎日又は隔日にやり計五回で全體六千ミリグラム時入れることにして居るが、非常に好果を奏して居る、台北醫院時代には一日に二百ミリを一時間に入れた經驗であるが、これでは二回に一百ミリグラム時しか入らず、世界各國で現在やつて居るやうに六千ミリグラム時以上を入れるには六十日以上を要し、ラヂウム治療法に二ケ月も入院させておく必要が生じて來るわけであるが、今日では術前に二週間で退院が出來、あとはレントゲン治療の爲め通ひ治療でよいことになつて居る。

身の上相談

相談相手もなく悲哀に沈める婦人の方は手紙で身の上相談御申込みなさい、電話や面會は御斷りします。

問　相續權を譲りたい

私は正式結婚しながら未婚中に離別した夫婦間に生れた子です。母が長女に當つた時は戸主も從つて五男四女は父の叔父の子として父の養子になつてゐます。父は其の後妻を迎へ長女、次女と出來ましたが、又復胎内に子のあるのに離緣しました。胎兒は男で生後父が引取りました。そこで私は養子其の子は長男となりました。其處に來た現在の世には男の子供が二人、即ち二男三男と生れました。今は弟で戸野上の長男が十八歳、次は十七と十二とです。現在父母と十二の末弟が一緒に、十八の弟は所在不明

答

貴方が父、母、長男第三者に對する感情に關する問題は何に正しいものであらうと存じます。まず第一問題に包まれさう複雜の關係を放棄して自分一個、氣安に生活しようとすることは無論方法ある譯的判じみたものに縛られない事もないが、併し大きな見地からの人道的感情として實行しないと思ひます。さりながらそれによつて世間樣の安穩、弟の幸福とふことだけは確かであります。即ち貴方が淵から身を引く事で果して目的が達せられるとかいふやうな事はもう少し深く考へ見れば分ることゝ存じます。又長男として父の後になぬればありません。問題は愛情問題にして、感情金の資金又は愛情問題にしてもよいでせう。分量に關して、子供等は養育の金額として相當なる分量を受けて相當額を集てるといふことが最も合理的なやり方ではないかと思ひます。それを實行することによつて世間に多少の不服があるとしてもそれは笑顏の裏に隱れて仕舞ふに相違ありません。何でも子供にわかり易いものを描んで來させてやります。御新姿姿樣を吸つてゐる間の運動にもなりませう。

野や山の藥草

夏の家庭藥としてよい

夏休中の子供はただ遊ばせておくより、適當な勤勞を與ふる有益な仕事をさせるのはよいことですが、野や山に藥草を摘ませるやうな仕事は、保護上にも非常によく、植物を實際に研究する上からも有益かと存じます。暴露しい暑をふんで、喘ぎでもうたびながら野原を歩いて藥草を摘むのです。藥草は十用中に摘んだものが特によいといひますが、敗壞したのは、家庭に常備藥として保存するのもよく、又發賣して、勤勞金の資金又は愛國貯金にしてもよいでせう。

分量に關して、子供等は養育の金額として相當なる分量を受けて相當額を集てるといふことが最も合理的なやり方ではないかと思ひます。それを實行することによつて世間に多少の不服があるとしてもそれは笑顏の裏に隱れて仕舞ふに相違ありません。何でも子供にわかり易いものを描んで來させてやります。御新姿姿樣を吸つてゐる間の運動にもなりませう。

問

貴方が父、母、長男第三者に對する感情に關する問題は何に正しいものであらうと存じます。まず第一問題に包まれさう複雜の關係を放棄して自分一個、氣安に生活しようとすることは無論方法ある譯的判じみたものに縛られない事もないが、併し大きな見地からの人道的感情として實行しないと思ひます。さりながらそれによつて世間樣の安穩、弟の幸福とふことだけは確かであります。即ち貴方が淵から身を引く事で果して目的が達せられるとかいふやうな事はもう少し深く考へ見れば分ることゝ存じます。又長男として父の後になぬればありません。問題は愛情問題にして、感情金の資金又は愛情問題にしてもよいでせう。

分量に關して、子供等は養育の金額として相當なる分量を受けて相當額を集てるといふことが最も合理的なやり方ではないかと思ひます。それを實行することによつて世間に多少の不服があるとしてもそれは笑顏の裏に隱れて仕舞ふに相違ありません。何でも子供にわかり易いものを描んで來させてやります。御新姿姿樣を吸つてゐる間の運動にもなりませう。

火を使はない料理の作り方

キャンプや避暑地に好適

火を使はないで美味しく食べ得る料理を作る例を三種し上げてみませう。

ハムの山吹和へ

材料（六人前）ハム三本、トマト二個、マヨネーズソース（一人前）胡瓜は小口から薄く二つに割つて、種を一寸振り除く。ハムは細く細切つて胡瓜と混ぜ合せ、器にとつてマヨネーズソースを加へてかき混ぜます。皮を剥いだトマトを適宜に切つて、上に振りかけ、色どりを美しくして供します。ハムの代りにソーセージを使つても美味しく出來ます。又胡瓜の代りにキヤベツでもかまひません。

白魚干のおろし和へ

材料（一人前）白魚干はざつと洗つてゴミを取り除にあけて水を切つておきます。大根を下し金で卸し、水氣を軽く搾つて器に取り、白魚干を上に乘せ、醤油を二寸かけて召上つて供します。胡瓜はざつと洗つて、それを細かに切り、そのまま細かに縦に縁へました。胡瓜は男で生後父が引取りました。そこで私は養子其の子は長男となりました。其處に來た現在の世には男の子供が二人、即ち二男三男と生れました。今は弟で戸野上の長男が十八歳、次は十七と十二とです。現在父母と十二の末弟が一緒に、十八の弟は所在不明

叩き乾醤

干瓢はよく洗つて後、水にしばらく浸けて柔かくし、それを細かに包んで水を切り、そのまま細かに縦に乘せて、椀木でよく叩きます。ふわ〳〵となりましたら、布巾で水氣を取つて器に盛つて、醤油をかけて供します。

白魚干のおろし和へ

材料（一人前）白魚干はざつと洗つてゴミを取り除にあけて水を切つておきます。大根を下し金で卸し、水氣を軽く搾つて器に取り、白魚干を上に乘せ、醤油を二寸かけて召上つて供します。胡瓜はざつと洗つて、それを細かに切り、そのまま細かに縦に縁へました。胡瓜は男で生後父が引取りました。そこで私は養子其の子は長男となりました。其處に來た現在の世には男の子供が二人、即ち二男三男と生れました。今は弟で戸野上の長男が十八歳、次は十七と十二とです。現在父母と十二の末弟が一緒に、十八の弟は所在不明

蟹の叩きぬた

材料（一人前）蟹一個（茹でたもの）酢、砂糖、醤油、酒、味噌各適宜（好み次第）蟹は甲を外し、鋏の關節を折り、甲の周りの肉を取り出し、甲の周りの肉を取り出し、甲の周りの肉を取り出し

江戸桃花陣 (109)

（繪上圖）

海晉寺潮五郎作
富永謙太郎畫

人生からくり（四）

茅葺の隠居所の低い軒を自分でひらいて、左右に植こんだ篁竹を掻き分けるばかりに披打ってでる飛石傳ひに叔關にかかると三五郎は軒にさげた樫木を低く二つ三つ叩いた。

「居なるるかね」

手拭をさげて出て來た老人に言ふ。

「おや、おねのやうですぜ」

さう言ったきりで、老人は手拭を被ってどこやらに引っこんでしまった。三五郎は、自分の家のやうに物馴れた様子で、暗い廊下を通って奥の座敷に入ると、手拭の竹を吹き消し、床の間の横に下つた紐を引いて行燈の側に坐つた。煙草盆を引きよせて行燈の灯で吸ひつけて、ゆっくりと一服する。

間もなく、どこやら遠い所から足音が聞こえて來た。三五郎は、煙管を捨て、坐り直した。廊下をぎしぎしと踏んで、老人は手燭を持って入って來た。

「おや、三五郎さんでしたか、まあ、ようこそ」

「ご無沙汰しました。お變りもなくて結構です」

「ほんとに、ご無沙汰でしたね。まあ、ようこそ」

「ご隠居さんもお元気で」

「ありがとう、ありがとう。まあ、ようこそ」

「ご隠居さん、ご相談があって參りました」

「ほう、何だね」

「ご隠居さんは、お金のことは、よくご存じでいらっしゃいますね

臺灣日日新報
（第二號）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十三年八月九日（火曜日）　臺灣日日新報　第一万二千七百八十八號　八（一）
本日夕刊共十二頁
定價一部六錢・一ヶ月金壹圓五拾錢・三ヶ月金四圓八拾錢・半ヶ年金九圓六拾錢・一ヶ年金拾七圓（日本國內及支那滿洲朝鮮へ郵送料共）
臺北市表町二丁目十五番地　臺灣日日新報社　所在地
電話代表五八〇一番　編輯局直通二〇〇番　社會部直通二〇二番　庶務部直通二〇三番　印刷部直通二〇四番　振替口座臺北二番
廣告料金　一行十五字　一回壹圓五拾錢　記事欄　一行一回金貳圓
木佐々　人行發兼編輯

敵軍用船を爆撃
大小六隻撃沈、または擱坐

【十八日發同盟】艦隊報道部にて一發表――昨七日海軍航空隊は大空襲後敵軍用船の動向に關し偵察を行ひたるところ左の如き戰果を擧げたり

一、揚子江方面の敵軍用船撃滅

(一)駆逐艦級一隻を撃沈し他の一隻に相當の損害を與ふ

(二)掃海艇級一隻を撃沈

(三)砲艦級一隻を撃沈

(四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(六)砲艦級一隻を撃沈

(七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(八)砲艦級一隻を撃沈

(九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(五十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(五十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(五十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(五十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(五十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(五十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(五十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(五十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(五十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(五十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(六十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(六十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(六十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(六十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(六十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(六十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(六十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(六十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(六十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(六十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(七十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(七十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(七十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(七十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(七十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(七十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(七十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(七十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(七十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(七十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(八十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(八十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(八十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(八十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(八十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(八十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(八十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(八十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(八十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(八十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(九十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(九十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(九十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(九十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(九十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(九十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(九十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(九十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(九十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(九十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百二十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百二十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百二十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百二十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百二十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百二十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百二十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百二十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百二十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百二十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百三十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百三十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百三十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百三十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百三十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百三十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百三十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百三十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百三十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百三十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百四十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百四十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百四十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百四十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百四十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百四十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百四十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百四十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百四十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百四十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百五十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百五十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百五十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百五十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百五十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百五十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百五十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百五十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百五十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百五十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百六十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百六十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百六十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百六十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百六十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百六十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百六十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百六十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百六十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百六十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百七十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百七十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百七十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百七十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百七十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百七十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百七十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百七十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百七十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百七十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百八十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百八十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百八十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百八十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百八十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百八十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百八十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百八十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百八十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百八十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百九十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百九十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百九十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百九十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百九十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百九十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百九十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百九十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百九十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(百九十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百二十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百二十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百二十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百二十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百二十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百二十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百二十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百二十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百二十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百二十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百三十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百三十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百三十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百三十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百三十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百三十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百三十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百三十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百三十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百三十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百四十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百四十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百四十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百四十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百四十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百四十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百四十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百四十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百四十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百四十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百五十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百五十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百五十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百五十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百五十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百五十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百五十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百五十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百五十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百五十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百六十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百六十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百六十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百六十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百六十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百六十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百六十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百六十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百六十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百六十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百七十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百七十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百七十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百七十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百七十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百七十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百七十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百七十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百七十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百七十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百八十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百八十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百八十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百八十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百八十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百八十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百八十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百八十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百八十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百八十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百九十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百九十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百九十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百九十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百九十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百九十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百九十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百九十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百九十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(二百九十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百二十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百二十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百二十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百二十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百二十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百二十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百二十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百二十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百二十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百二十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百三十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百三十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百三十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百三十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百三十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百三十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百三十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百三十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百三十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百三十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百四十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百四十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百四十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百四十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百四十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百四十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百四十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百四十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百四十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百四十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百五十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百五十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百五十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百五十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百五十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百五十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百五十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百五十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百五十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百五十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百六十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百六十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百六十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百六十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百六十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百六十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百六十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百六十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百六十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百六十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百七十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百七十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百七十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百七十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百七十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百七十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百七十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百七十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百七十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百七十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百八十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百八十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百八十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百八十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百八十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百八十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百八十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百八十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百八十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百八十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百九十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百九十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百九十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百九十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百九十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百九十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百九十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百九十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百九十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(三百九十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百二十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百二十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百二十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百二十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百二十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百二十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百二十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百二十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百二十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百二十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百三十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百三十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百三十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百三十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百三十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百三十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百三十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百三十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百三十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百三十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百四十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百四十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百四十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百四十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百四十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百四十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百四十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百四十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百四十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百四十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百五十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百五十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百五十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百五十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百五十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百五十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百五十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百五十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百五十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百五十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百六十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百六十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百六十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百六十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百六十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百六十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百六十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百六十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百六十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百六十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百七十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百七十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百七十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百七十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百七十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百七十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百七十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百七十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百七十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百七十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百八十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百八十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百八十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百八十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百八十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百八十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百八十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百八十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百八十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百八十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百九十)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百九十一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百九十二)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百九十三)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百九十四)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百九十五)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百九十六)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百九十七)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百九十八)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(四百九十九)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(五百)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(五百一)砲艦級一隻を擱坐せしめ後ち撃沈

(五百二)砲艦級一隻を擱

新經濟道へ發足
池田財政の目標
合理的資本主義再建から（續き）

現在資本主義機構の戰時體制融合

木村　相當はげしい統制經濟の進展して行く、進れ、ます〳〵その度を加めて行くに違ひない。「戰時體制だから……」と諦めるには餘に餘りにも犧牲なものがあらう、併しそれも或る程度迄は覺悟し、さらに今後の國際情勢に備へ◇…戰時體制を整備して行くには必然の事としなければならぬかも知れない、しかも一方には、かうした經濟の統制もはんぱず一層強化した經濟政策を推進して居る向もある。それは全體主義の立場から全部を合理化さうとするもので現實に於ける矛盾相剋を以て資本主義機構をその儘としておいて、其處に理想を繰り込まうとすることを非難するもので、明かに資本主義の根本的改正といふよりも寧ろそれを否定しようとする處さへある。現にドイツでいふ◇…現在の日本は、ほゞ第の如くに「池田財政」はその徹底であり、慶應手段に過ぎないかも知れない「如何に革新的理想を抱いて居るやうにいはれても彼は矢張り資本家だ、長く資本主義の關營にあつた彼に多くを求むることは無理かも知れないが——」と、早くも池田財政に望を絶しの◇…一層革新的な理想の世界を實現しようとして、その前提として、著く附帶條件として外交政治の根本的革新へ驅進して行もあるそれは無論變更してゐないが、理論として正しいかも知れないが、六十年の歴史を有する現實の資本主義が現存して居る以上、これを無視すれば時に混亂を招起し、經濟を攪亂するかも知れない、歴史の前にはそれも必要から知れない

◇…統制經濟の理想を繰り込まうとすることを非難するもので、明かに資本主義の根本的改正といふよりも寧ろそれを否定しようとする處さへある。現にドイツでいふ◇…現在の日本は、ほゞ第の如くに「池田財政」はその徹底であり、慶應手段に過ぎないかも知れない「如何に革新的理想を抱いて居るやうにいはれても彼は矢張り資本家だ、長く資本主義の關營にあつた彼に多くを求むることは無理かも知れないが——」と、早くも池田財政に望を絶しの◇…一層革新的な理想の世界を實現しようとして、その前提として、著く附帶條件として外交政治の根本的革新へ驅進して行もあるそれは無論變更してゐないが、理論として正しいかも知れないが、六十年の歴史を有する現實の資本主義が現存して居る以上、これを無視すれば時に混亂を招起し、經濟を攪亂するかも知れない、歴史の前にはそれも必要から知れない

廣東貿易は總て
香港弗を以て取引
法幣の平價切下も必至の情勢

海岸線不通で
貨物輸送は打撃
然し一期米出盛濟でホッとする

【香港八日發同盟】我が支那沿岸交通斷で廣東は國民政府に對する唯一の經濟となり法幣暴落を防げつつある伸長は著しく、殊に本年一月より三月に至る間廣東の輸入は月額平均二千九百万元、輸出二千八百九十万元の入超を示した、而も輸入のセパーセントは外國主として英國人の手に依るものであつた、この外國商人に依る廣東に於ける輸入の九十八パーセントまでは香港弗の拂ひであつて、而も現實の送金無く其の國民政府は英國に近い外國爲替統制を行つて居り、從つて支拂はれる訳であ

代用工業の自眉
プラスチックス
バラソルの柄は尿素樹脂

代用品工業の現在の發展ぶりに於て、自眉の存在は何といつても合成樹脂工業である。合成樹脂は今日ではゴム製品やセルロイド製品と共にプラスチックスと称して、合成工業の最新製品を出すに至つて居り、其製品に天然物には見られざる特性を發揮して新しき材料となつてゐる。―次にこの時代の寵児たらんとする、合成樹脂の概略を紹介せう。

◇

合成樹脂工業の發展は、石炭酸樹脂で、今なほその衰へない王座を占め自動車、電氣機械、化学工業、醫藥部分品等に廣く用品の中に發展し來り、その商品名ベークライトの名は知らぬ人もない位である。

その製造は石炭酸とホルマリンから縮合物を取出し二酸化珪素または他のタールから分離したフルフロールとホルマリンを、アンモニヤ或は苛性曹達の觸媒を用ひて縮合し、製造した樹脂を、パルプ、布、石綿粉に混合して強壓成形して固化する―これがベークライトのABCであるが、本樹脂も最近は素晴らしい發展を示し、益々工業的高い製品を提供するもの〻期待しつゝある。

◇

例へば、樹脂に對する強さが問題にせられるところでは、一般の金屬製品の實に十四倍の強さのものまで得られてゐる。これは樹脂部分品に限はれてゐる。

次は絶縁に對しても一般品が耐氏二百度までの熱に耐へるに對し、樹脂のものは耐氏百度まで引上げられて居り、既に電氣アイロンのコード接續部や、調理器の取手、ヒーター部分品また新式の計器用部分品等に用ひられてゐる。また普通の樹脂製は吸水に對して弱點や缺點があるが、樹脂製品については、この點も全然心配がない。次に衝撃に對しても、